

看護職員の負担の軽減 および処遇改善計画

2025年度

新山手病院 看護部

公益財団結核予防会新山手病院では、看護職員の負担軽減及び処遇改善のための下記の項目について継続的な取り組み

1. 看護職員の負担軽減及び処遇改善に関する責任者
事務部長、看護部長
2. 看護職員に勤務状況の管理勤務時間（日本看護協会ガイドラインに準じる）
勤務間隔は11時間以上あける（勤務インターバル確保）
勤務拘束時間13時間以内とする
夜勤の連続回数は2連続（2回）までとする
連続勤務日数は5日以内とする
仮眠取得の確保と仮眠環境の整備をする
頻繁は昼夜遷移は生じない交代制勤務編成とする
3. 多職種からなる働き方改革・業務改善のための委員会設置（1回/月）
看護部業務改善委員会、労働安全衛生委員会
4. 看護職員の負担軽減及び処遇改善に資する計画
評価と次年度計画立案（1回/年）、職員への周知（部署内へ掲示）
5. 看護職員の負担軽減及び処遇改善に関する取り組みの公開
院内に掲示

看護職員の負担軽減及び処遇改善のための取り組み

項目	2024年度計画	具体的な取り組み	評価	2025年度計画
業務量調整	時間外労働が発生しないように業務量を調整	各部署の状況に応じて他部署から看護師の応援体制をとった。各部署の取り組みとして残された業務内容を声掛け合う協力体制の強化	各部署の時間外業務が全体で23%削減できた	更なる時間外業務の短縮のため業務改善をしていく 2025年度も継続
他職種との業務分担				
薬剤師	全病棟薬剤師配置により持参薬の確認、退院時指導の実施	内服管理指導・退院時指導することで、患者への薬の説明や退院時の最終チェックと薬の渡しをする プレアポイド報告処方された薬を電子カルテ上で薬効重複・相互作用・処方ものを指摘	病棟に薬剤師は配置していることですぐ確認、疑問解決になるため時間削減できた 退院時指導は54%できた プレアポイド報告は毎月70件程度報告され気づくことができた	薬剤師による配薬管理の実施 在庫管理・期限切れ管理の実施 他は2025年度も継続
理学療法士	病棟で自身で動けない患者を動けるように、食べられるようにリハビリテーションを実施する 土曜日祝日のリハビリテーション実施	高齢患者の入院が増える中、看護師が行っている術後離床は年々依頼数が増加している。リハスタッフの介入により一部体重計測、バイタルサイン測定の実施する	入院患者の70%が70歳以上であり、個別性にあつたリハビリテーションを実践することで病棟看護師の負担は軽減している 土曜日祝日のリハビリテーション85%実施	引き続き2025年度も継続
システムエンジニア	看護管理基準の電子化 勤怠管理の電子化	毎年各部署へ内容改定をするたびに変更内容を修正し配布していた。 作業時間は変更内容によりかかってしまうため、効率性、生産性をあげる 全部署勤務入力を電子化にする	看護管理基準を電子化することができた 内容に関しては85%完成した 勤怠管理を電子化（100%）することができた ペーパレス化、印刷、作業時間の削減ができた	勤務届用紙の電子化見直し 看護用具点検表の電子化 看護管理基準の見直し 薬剤管理の電子化
看護補助者配置	病棟クラークの配置 患者の移送	病棟クラーク配置により、電話対応、面会対応、入院退院準備、入院案内、カルテ整理等の業務を実施 担当看護師の指示のもと状態が安定している、軽介助での移送・移動については看護補助者が行う	看護業務の円滑化、効率化時間外業務軽減に繋がった（15分） 委員会を開催することで業務の統一（54%）、情報共有することができた	引き続き2025年度も継続
	全部署に看護補助者夜間配置	全部署に看護補助者を夜間配置するための人員採用、教育、マニュアル作成を計画的に実施する 患者の検査搬送介助、夜間入院患者の介助、高齢患者の見守り、清掃、環境整備、食事介助、排泄介助の実施	夜間看護補助者を全部署に配置することができた。マニュアル作成が完成して業務内容の統一することができた	マニュアル内容の見直しと周知 引き続き2025年度も継続
多様な勤務形態の導入				
妊娠子育て中介護職員に対する配慮	夜勤の減免 所定外労働の免除 時間外労働の制限 所定労働時間の短縮 日勤常勤勤務制度 男性看護職員の育休取得	当該職員の申し出により、夜勤を免除 当該職員の申し出により、所定外労働免除 当該職員の申し出により、時間外労働免除 当該職員の申し出により、所定労働時間の短縮措置を講じる 当該職員の申し出により、育休を取得させる	申し出職員には申し出通り各部署対応した（100%）	引き続き継続
	復帰後の職務	円滑に職場復帰できるように本人と相談する	個人の環境にあわせた配置（100%）	引き続き継続
	半日休暇制度	有給休暇について半日単位で取得可能	半日休暇によりスタッフの確保をすることができた（87%）	引き続き継続